**ハンセン病について知識・理解を深める**

**１．ハンセン病とは**

**２．感染症と発病の要因**

**３．癩（らい）予防法**

**無らい県運動**

**４．癩予防法の制定**

**平良仁雄氏プロフィール**

**沖縄ハンセン病回復者の会　　　　共同代表**

**ハンセン病問題ネットワーク沖縄　共同代表**

**１９４８年（昭和２３年）国立療養所沖縄愛楽園初入所**

**１９９９年（平成１１年）　　　〃　　　　　　再退所**

**２００８年（平成２０年） 光の扉開かれる**

**参考文献：「ハンセン病医学史」**

**儀同政一（国立ハンセン病資料館）**

**沖縄愛楽園交流会館２０１８年８月１７日**

ハンセン病とは、

　癩菌により、皮膚と末梢神経に病変が現れる普通の慢性感染で、治療中・治療終了後も普通の生活が送れる病気。

癩予防法とは、

　１９０７（明治４０）年～１９５４（昭和２８）年にかけて、ハンセン病患者を強制収容隔離し、患者の人権を侵害した法律。

無癩（らい）県運動とは、

　１９３０年代～１９６０年代、癩（らい）予防法に加担、都道府県からハンセン病患者をなくすため、競って患者を見つけだし密告、療養所へ送り込んだ官民一体患者狩り運動。